

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月16日

上場会社名 ダイソー株式会社 上場取引所 大・東
 コード番号 4046 本社所在都道府県 大阪府
 (URL <http://www.daiso.co.jp/>)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 佐藤 存
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理本部長兼管理部長 氏名 浅岡 憲之 TEL(06)6443-5501

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 :無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

	売上高	前年同期比
	百万円	%
16年3月期第3四半期	43,418	-
15年3月期第3四半期	-	-
(参考)15年3月期	58,278	22.7

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行なっているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載していません。

〔売上高に関する補足説明〕

当第3四半期におけるわが国経済は、設備投資と輸出の増加に支えられ回復傾向にあるものの、円高の進行や雇用情勢の先行き懸念など、楽観を許さない状況で推移いたしました。

このような状況下で、当社グループは、機能化学品におきましては、エピクロルヒドリンゴム、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、酸化イリジウム電極などの高付加価値製品の営業体制を強化し、事業の積極的拡大に取り組みましたので、増収となりました。また、基礎化学品におきましては、クロル・アルカリ製品が、国内市況の低迷により減収となりましたが、エピクロルヒドリンは、昨年7月に昭和電工株式会社より営業権を引き継いだことにより、大幅な増収となり、基礎化学品全体としては、増収となりました。一方、住宅設備ほかにつきましては、生活用品関係における個人消費の落ち込みと収益重視のための低収益商品の見直しを実施したことにより減収となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期の売上高は、43,418百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

平成15年12月15日に、130%コールオプション条項付第3回無担保転換社債型新株予約権付社債50億円を発行いたしました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	59,000	1,200	600	7 58

平成15年11月17日に公表した業績予想等については、特に変更ありません。

以 上